

誤嚥性肺炎を予防し、長く“食べる”事を ENJOY（援助い）するために

「嚥下機能評価を目的とした入院」

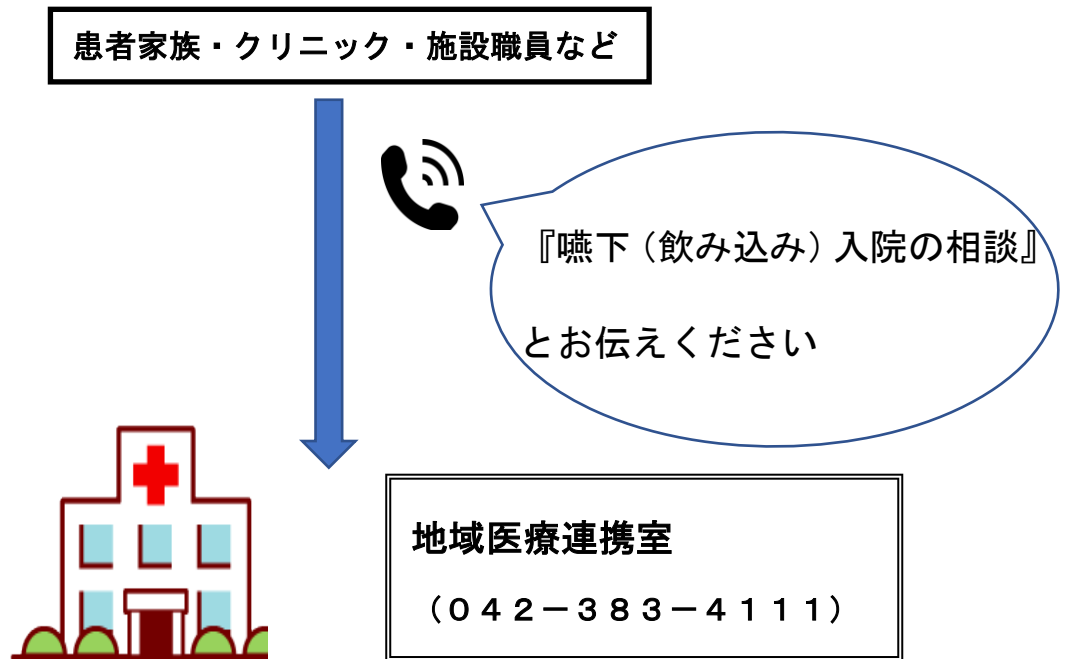
☞ 嚥下（飲み込み）専門の言語聴覚士が
リハビリ専門医と連携し、嚥下造影検査を
はじめとした詳細な評価と日々の訓練から、
誤嚥性肺炎を予防できるよう適切な食事
形態・食事方法をご提案します。

☞ 医師・看護師による全身管理、理学療法士による姿勢
調整と誤嚥に負けない体作り、作業療法士による自助具
の選定と食事動作訓練のほか、栄養管理・指導と要望に
合わせた食事の提供（管理栄養士）、入院相談から退
院までのコーディネート（医療ソーシャルワーカー）等、当
院独自のチーム医療で健康をトータルサポート致します。

「誤嚥性肺炎と言われたけど・・・」「最近よくムセるけど、今食べてるもので本当に大丈夫？」「トロミを付けた方が良い
と言われたけど、どのくらい付けばいいの？」など、飲み込みに不安や悩みのある方、ぜひ当院へご相談ください。

桜町病院 地域医療連携室（電話：042-383-4111）

【入院についての相談】



*後日、入院時期の連絡と入院の案内をさせていただきます。

【入院～退院までの流れ】

